

## 1. 株式会社スリーハイを選んだ理由

昨年、「中小企業のCSR」の講義を受講させて頂いた際に、同社のCSRは、会社の強みを活かしたCSRで、会社側にも、社会にもWIN-WINであると感じたため選んだ。

CSRや横浜地域貢献企業に認定されている企業は多くあるが、実際にCSR動画の取材に行くと、ゼミ生の考えるCSRと会社側のCSRが異なり納得のいく取材でない場合が多い。そのような中、同社のCSRは共感できるものが多かった。

## 2. ビジョンや経営理念

- ・ 理念『ものを思う。ひとを思う』

モノづくりをする立場として「モノを思う」気持ちは欠かせない。また、そのモノの先には「お客様」がいて、そこで「ひと」を思うことが必要となってくる。

同社は、まず「ヒーターを欲しいお客様」という存在、また「材料を求める仕入先」という存在をつなぐ役割にあるので、モノづくりをするなかで、「ひととのつながり、かかわり」が必然的に出てくる。

また、企業市民として存在しているため、関わる人すべて(東山田の住民、企業、顧客、仕入先など)がステークホルダーとなり、それらをまとめて「ひと」、「ひとを思う」という理念を掲げている。

- ・ ビジョン『温かさをつくること』

ヒーターがものを温めるように、理念の「もの」や「ひと」を思う会社として、人々とのつながり、社会、全てを温めていきたい。というそういう思い。

## 3. CSR活動について

- ・ 男澤さんの考えるCSR=必要とされるときに、自分たちが役立つこと。自分の会社の存在意義。その地域において、その企業ができることをやること。
- ・ CSR活動を始めた理由は、①子供たちにもものづくりの楽しさを教えたいという気持ち、②日本とはものづくりは手作りであることを強みとしていた国であったが、近年、オートメーション化が進み、手を使ってモノづくりを行なうことが減ってきている。IoTばかりだと各国との差別化がはかれず日本は危ないのではないかと懸念され、そうした将来を見据え

た時に、今、東山田の子どもたちに、東山田工業地域の様々なものづくりの工場を知ってもらって、大人になったときに思い出してもらいたいと思ったから。

- 具体的な活動

- ① 「小学生まち探検」工業地域の工場、モノづくりについて知ってもらう
- ② 「オープンファクトリー」ハロウィンにはヒーターを使ってプラバンをつくるイベント、他にもヒーターを使ってチョコバナナをつくるイベントなど ☆スリーハイだからできること
- ③ 「まちづくり」まちの看板、ポイント(標識のような)を地域住民と話し合いながら考えていくことで、自分たちのまちづくりをしている。

- 効果はどうか

短期間では効果は分からないし、CSRというのは効果を数値化したり、目に見える表現で表すことが難しい。しかし、CSR活動を通して、幅の広い人々(学校の先生、子ども、地域のおじいちゃん、お父さん、お母さん)と接触し、自分の会社がどういう会社かそれぞれに合わせて話すこと(会社を翻訳すること)で、対人スキルがあがる。ただし、自分では実感することはあまりなく、外からの「男澤さんのところの社員はいいね」「丁寧だね」と評価されて、初めて分かる。

男澤さんは、このような効果から、CSR活動は社員教育だと考えていて、「地域のひと(子供たち、ご両親、先生、地域住民)に無償で時間を割いてもらい社員教育をしていただいている」と考えている。

- 困難さ

ただ、社長の思いだけが先走り、ひとりよがりになってしまうこともある。社長自身は10年後こんな社会にしたいという思いをもっているが、社員がそれについて来ず、衝突することもある。実際、効果が見えにくいので、なんでやっているんだろうと思うときもある。

CSRの活動は、業務時間内に行なっていて、それぞれ技術者は、納期があるなかで時間を割いて参加するので、なんで忙しいのにそんなことするんだという意見があがることもある。しかし、実際の活動後の皆の顔は達成感の顔で、自分の仕事が褒められるとうれしくおもっている。ただ、地域のなかにも潜在顧客がいるので、そういう活動をするんだよと話す社員は理解してくれるそう。

- CSRは積み重ね

今から頑張っても4年も先にCSRを行なっている会社にCSRで追いつくことは不可能。お金で頑張っても良いCSRというのはできない。早く始めたもの勝ちである。同社は早く始めたので、頑張りたいとのこと。

#### 4. 就活生向けに求める人材

『なんとかする力』をもつこと計画してもうまく実行できないことが世の中にはたくさんある。そんな中で、困難に陥った時に、新たな切り口から臨機応変に対応していく力をもつこと。この力は大学生のうちにも磨いていける。

CSR横浜

YOKOHAMA Corporate Social Responsibility

<https://www.csr-yokohama.net>